

「家庭系ごみ指定袋制度」の導入に
について（素案）説明会（報告）

平成 2 9 年 8 月

弘前市環境管理課

目 次

1. 開催日時及び場所、出席者数	1
2. 開催内容	1
3. 主な意見交換内容（会場別）	2
中 央 公 民 館 岩 木 館	2
市 民 文 化 交 流 館	6
中 央 公 民 館 相 馬 館	1 6
泉野多目的コミュニティ施設	1 9
農 村 環 境 改 善 セ ン タ ー	2 3
北辰学区高杉ふれあいセンター	2 9

1. 開催日及び場所、出席者数

No.	実施日	会場	時間	男	女	総数	備考
1	H29.7.21（金）	中央公民館岩木館 大ホール	18:30～	4	2	6	
2	H29.7.26（水）	市民文化交流館ホール	18:30～	23	9	32	
3	H29.7.28（金）	中央公民館相馬館 研修室	18:30～	3	0	3	
4	H29.7.31（月）	泉野多目的コミュニティ施設 多目的室	18:30～	6	2	8	
5	H29.8.8（火）	農村環境改善センター 多目的ホール	18:30～	17	3	20	
6	H29.8.16（水）	北辰学区高杉ふれあいセンター 研修室	18:30～	5	3	8	当初8月9日（水）に実施を予定していたが、 台風第5号接近に伴い影響を考慮し、8月16 日（水）に変更。
計				58	19	77	

2. 開催内容（各回共通）

- ①開会
- ②あいさつ
- ③「家庭系ごみ指定袋制度」の導入について（素案）説明
- ④質疑応答
- ⑤閉会

3. 主な意見交換内容（会場別）

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
中央公民館 岩木館	他の町会や地区外のごみ等が混じっているのがあります。それらについてはどのようにしてこれから対応するつもりなのか。	指定袋を使用していない、分別がなされていない、日にちが違うというごみについては、出された方にごみの出し方を理解していただくために黄色いステッカーを貼って、置いていくこととしています。基本的には、出された方が引き取り、次回に正しく出していただくこととなります。お困りの際は環境管理課の方にご相談いただければ、その時に適切な対応をさせていただきます。他の地区からの持込についても、今回市の指定袋を使用することで、弘前市以外の人わざわざ袋を買ってまで捨てるというのは、今の状況よりは考えにくいのではないかと思います。
中央公民館 岩木館	例えば通勤途中に他の町会の人捨てていくような件については。	記入欄というものを作りたいと思っています。地域の人しかわからない記号なり名前を設定していただくと判別しやすくなると思います。記入欄を活用いただいて不適正排出の対策にも使用していただきたいと思っています。
中央公民館 岩木館	記入欄のところに市としては例として町会名や大字名は記入するということでしょうか。それとも各町会で印刷するのか、市の方でそこまでしてくれるのか。	記入欄については、個別には印刷はしません。記入欄という枠を作らせてもらって、使い方を臨機応変に各町会で使いやすいように利用していただけたらと思います。
中央公民館 岩木館	市としてはどれくらいの値段を見込んでいるのか。	町会連合会で売られているのが1枚当たり約7円、市内のスーパーで売られているのがちょっと薄くなっていて1枚当たり約5円ということです。先進自治体でも指定袋を導入するときに45リットルというのが一般的になっています。青森市の例だと、1枚当たり約15円で販売しています。自由競争の元、袋を製造することができますので市として、袋の価格をこれだと決めることが

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		できないということをご了承ください。
中央公民館 岩木館	<p>青森市は指定袋なので1枚が少し高めに付くのでみなさんチラシを見て、スーパーやドラッグストアで買い物している。破けやすいというのがありまして、ギュウギュウに詰められないということがありましたので、質を業者の方にきちんとしてもらいたい。デザインは素案なのでとりあえずこういう感じということだと思いますが、ちょっと字数が多いのでわかりやすく、高齢者の人も読むと思うのでイラスト風とか簡単にできるのであれば対応してもらいたい。記入欄も枠をもう少し大きく取ってもらえば書きやすいと思います。弘前市としては慣れるまで指導してくれるのか、町会に任せるのか。</p>	<p>質については、登録時にチェックをしますし、流通しているものについても抜き打ちで努めていきたいと思っています。デザインの内容については、資料に示していますので、文字が小さく見えますが、袋にすると大きく見えると思います。記入欄について青森市は町会名や大字名を例示するルールでやっています。市としては記入欄に記入していなくても収集自体はします。地域ごとの状況に対応できるようにということで今回のような記入欄の取扱を考えています。市としましてもできるだけ記入欄を記入してもらってごみ出しルールを徹底してもらった方がごみの減量化・資源化に繋がりますので、そういった形で進めていってもらえればいいと思います。何箇所か見回りを考えています。</p>
中央公民館 岩木館	<p>今回色が黄色ということですがどちらも黄色となるのでしょうか。あと、30年度内に色を変えるということで、在庫を持っているという人がいると思うが、1年かけて使い切ってしまうのもいいのか。また、ごみ袋については町会連の方で斡旋して町会のちょっとした収入になっているが、そういうのはなくなってしまうのか。町会連も一つの事業所としてみるのか。</p>	<p>今回お示ししている案では、燃やせるごみ、燃やせないごみが同じ袋で出せます。むやみに袋の種類を増やすと値段が高くなってしまいますし、市民の方々も制度が煩雑になってしまっただ対応しにくいのかなということがありまして、今回この1種類にしています。緑色の町会連で斡旋している袋については、町会連合会と調整をして進めているところです。今回の制度であれば町会連合会であっても販売は可能です。緑色の袋については1年に1回発注をかけてみなさんまとめて買っているという状況もあると思いますので、市としては在庫が残らないように、まずは周知期間を長めに取ります。残ってしまった袋をしっかりと活用できるような方法というものを考えていかないといけないと認識しています。</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
中央公民館 岩木館	ボランティア清掃ごみ、木の枝の取り扱いについて、その地区、例えば市街地とか農村地帯によって排出される量が大幅違うと思う。各家庭にあります木の枝とかそれらのものは指定袋に入れてやらないといけないということですか。	そのように考えています。
中央公民館 岩木館	木の枝は1回に3束までということですが、もっと多く出せるようにしてほしい。	指定袋にしたからといって変える予定はありませんので、ルールとしては同じです。束ねることが出来ないものは、今後指定袋に入れてくださいということになります。
中央公民館 岩木館	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量の推移で平成23年度から増えている原因は掴んでいるのか。1人1日当たりの排出量を平成32年度までに109グラム、平成37年度までで119グラムとあるが、米印でもいいので具体的に、これだと何束になるとかそういうのがわからないとただ109グラムと言われてもわからない。	平成24年からの排出量が上昇したことについて、ごみというものは全ての量を市がすべて検査しているわけではないので、はっきりとこれということとはわからない現状です。ただ、理由の一つとしては平成24～25年度については災害ごみというものが一時的に発生したということもありますし、特に25年度は水害のごみということで若干上昇したと思っています。目標値のグラムということで、普段生活してごみを出す際に一袋何グラムかを意識するのは難しいと思います。市としましては、市民の皆さんにわかりやすく伝える努力はしないとはいけません。今年、ごみ情報に特化したごみ広報誌を出す予定です。その中で、重さをより身近に感じるためにリンゴ1個であれば300グラム、コンビニのおにぎり1個100グラムとか少しでもわかりやすい形に変えて、みなさんに少しでも理解してもらう努力はしていかなければと思っています。

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
中央公民館 岩木館	<p>大型ごみの件ですが、自転車は大型ごみになりますよね。ところが、私たちが住んでいる田舎の地域には各家庭に農業用じゃなくて手押しの一輪車があり、例えば古くなったのでごみに出しても持って行ってくれない。二つ目として、家庭菜園で使った地面に敷く黒いビニールありますよね。こういう地域であれば家庭菜園でよく使っているわけです。それを出しますとこれは市では収集しないごみだと黄色いステッカーを貼られる。こういうのはもっと上手に出せばいいんじゃないか。</p>	<p>農業用の一輪車ということで、市としては事業所から出るごみについては回収しないという取り決めになっています。農業から出るものも事業所ということで黄色いステッカーを貼っています。市としては外見から農業で出したものと見てしまえば収集できません。市民みなさん公平な条件で収集しなければならないというのがありますので、事業所から出るものはご自身で清掃工場まで持ってきていただくか、収集業者さんをお願いしてもらうということをお願いしています。</p>
中央公民館 岩木館	<p>一輪車のことですが、私の町会は140戸くらいあって、その中で収集場所が4ヶ所あります。そこにごみを出すには、必ずしも農業じゃなくても一輪車に積んで持っていく。そういうのが将来ごみになっても持って行ってくれない。</p>	<p>自転車はパッカー車で巻き込めますが、一輪車は巻き込めないので収集困難物になっています。</p>
中央公民館 岩木館	<p>ごみ袋のところに記入欄とありますよね。できれば町会名・班名というふうに分けていただければ助かる。岩木地区の方は、町会に加入している方が90パーセントくらいあるが、旧弘前市だと町会の加入率が40パーセントくらいだと思う。町会でこういうことやっていますよというのをアピールしていると思うが、現にアパートとか城東地区とかほとんど入っていない方が多いと思います。町会連合会の方も町会の加入を働きかけているわけなので、市でもごみ袋について町会名、班名を書いてくださいというと、町会に対する思いが出てくるのかなと思います。</p>	<p>記入欄を区切っていないのは、あえて区切っていないということもあります。その理由として、ルールの特例のみ行って町会ごとに独自のルールを上乗せして作るというような町会が出たときに、例えば班名だけとかだったら良いが、もうちょっと厳しく書かせたいというような町会が出たときに逆に枠が支障になってしまうというのがあります。先進自治体によると氏名を書かせている自治体もあつたりして、弘前市の中でも、もしかすればそこまで求める町会も出てくるかもしれないと考えたときに、区切ってしまうと用途が限られてしまうのではないかとあります。市としても町会の加入の促進が重要な基盤であるということはこれを機に訴え</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		かけていかなければならないと思います。
市民文化 交流館	<p>最初にお話いただいた3ページ目の平成25年度を基準年度とした理由は何故か。次に4ページ目のお話の途中で人口減少していったら、負担が増えるとのことだったが、人口が減ればごみを出す人が減るのだから負担は上がらないのではないか。3つ目は、16ページで、今まで推奨していた緑色の袋は対象としないごみに利用できるのか。4つ目は、新しいごみ袋に移行するときに、例えば今現在もその他の紙に出しているような裏が銀色になっている紙パックが、移行するときに燃やせないごみに変わったりすることがあるのか。次に、18ページの地域ごとの実情に合わせて、集積所に出す際のルールを個別に設定するというのは、そのごみ袋に書くのを町名とか名前を書く程度のものであって、ごみを出す時間とかは変わらないのか。最後に、移行するときに入院していたりして、今まで使っていたごみ袋が余っていることがあると思う。そういった場合に黒石市でやられていたように、シールで40円とか70円とかそれまで使っていた袋に貼って回収していたみたいなので、できればそのようにしてもらいたい。以上6点です。</p>	<p>まず一つ目としまして3ページ目の基準年度を平成25年度にしているのはなぜかと言うと、今の一般廃棄物処理基本計画が平成28年度から平成37年度までの10年間となっております。平成27年度に策定しております。その際に国でお示ししている一般廃棄物の実態調査というものがあり、その最新の数値が平成27年度時に平成25年度のものしか公表されていなく、平成25年度が最新値だったということです。続いて2つ目ですが、人口減少していくなかで、ごみ処理経費が今後増大していくのは何故かということですが、簡単に言いますと単純に人口が減ると、ごみの量もそれに従って減っていきますので、それについての経費は減る部分もありますが、基本的にはごみの処理経費というものは焼却処理費、容器包装処理費といったものからですが、こういったものの中身としては基本的には工場の運営費等があります。工場の運営費の中で、ごみの量が減ったから減るという変動費という考え方と、それに関係なくずっとごみの運営を続けなければならない経常的に係る費用として固定費という考え方があります。町田の清掃工場では変動費が3割、固定費が7割ということでごみが減ったからといってすぐには変動費として影響するところがあまり無く、逆にいいますと人口減少の影響よりも1人当たりの負担が単純に増える部分の方が大きくなってしまいうことで、この状況が続くと1人当たりの処理経費が増大する傾向にあります。ただこれについては、処理施設にか</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		<p>かる経費等、若干変動がありますが、単純にごみ処理の状況と人口の状況をみますと、そういった傾向になっております。続いて3つ目ですけど、今後も緑色の袋は使用可能になるのかということですけど、今回お示しした燃やせるごみと燃やせないごみについて指定袋の対象にするようなお話をさせていただきました。基本的には緑色の袋は使用できません。みなさん町会の方とかが心配している在庫がたくさん出るのではないのかなというお話は多分にいただいているところですので、もちろん指定袋の開始時期まで十分な周知期間を設けるのも大事です。特例ではないが、その袋を他に活用できる方法を別途考えていきたいと思います。ただ、それについては今回みなさんにお示ししているのが、指定袋制度に関する基本的な考え方ということで、深いところは今後検討していきたいなと考えております。続いて、指定袋への移行による分別の変更があるのかということについてですが、予定している分別の変更というものは直接的にはありません。ただし、現在、雑がみとその他の紙がありますが、こちらの分別区分についてはかなり紛らわしい部分があります。前回の意見交換会でも市民の皆さんからたくさん意見をいただいていたところでしたので、統一できないかどうか現在、検討を進めているところです。ただし、現在は指定袋制度の実施に伴って分別品目の変更というのは考えていません。続いて5番目の記入欄についてですが、用途としては、地域ごとに町会名や班名を書いて使用したいところや、マンションであれば、部屋番号を使いたい等が考えられます。先進</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		自治体の状況をみますと、個人名を書かせているところもあります。市としては、特段制限が無く、市は例だけを提示するような形になります。あくまで集積所は町会の物なので、町会の集積所に出す際は町会のルールに沿って出してくださいということで周知をしていく形になります。出す時間や収集時間は今までと同じとなります。あくまで記入欄についての考え方だけが、町会で決められるということになります。続いて6番目についてですが、移行することにより緑色の袋が残ることは多分に考えられますので、活用できるような方法は考えていきたいと思っています。今回、指定袋を設定している条件として、他市町村からの持ち込みを区分するというのが目標の一つなので、他市町村からの袋にシールを貼って出すというのは難しいと思います。
市民文化 交流館	2ページ、家庭系ごみの排出量が載っていますけど、青森県も弘前市も平成23年まで減ってきているが、平成24年から弘前市も青森県も同じで全国的な流れですと段々減ってきている。収集の方法が変わったのか、何かあって増えているのか。	ごみの排出量というものは全ての要因を我々が把握することはできませんが、一つの要素として平成24年度と平成25年度というのは災害のごみが多分に発生しました。特に平成25年度につきましては水害のごみがありました。それで若干、上昇している部分があるかと思います。全国的には災害を受けた福島県など高くなっておりましたので、その影響もあると思いますが、47都道府県にすると災害の影響が無かったところもありますので、全国的には下がってきていると思います。
市民文化 交流館	指定袋を使うとなれば、例えば町会名を書くとか班名を書くとか町会で決めることになると思うが、現在、町会に入らないアパート、あるいは借家の人もたくさんいます。我々、喧嘩し	記入欄の活用については、集積所を管理する町会の判断でよろしいかと思います。ある程度、おおらかにしたいということでアパートの人とあつれきが無いようにしたいということであれば、記

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
	<p>ながらやることになるのか、あるいはごみ集積所から外れたところに出してもらうようにするのか。ルールと言いますが、現在、緑でも白でも色に関わらず、出しても良いことになっているので、町会の物も大目に見ている。どうすればいいのか困っている。何かアドバイスがありましたらお願いします。</p>	<p>入をしなくても良いルールもあると思います。様子を見た後に、ルールを作りましょうというものもあるかと思います。記入欄の使い方につきましては、町会のほうでご自由に提案していただきたいと思います。ただし、市としてルール自体を町会に丸投げするということでは無く、基本的には町会名または大字名を書いてくださいという形で市民の皆さんに周知します。例えば町会に入っている方は原則的には「〇〇町会」と書いて出していただく形になると思います。町会に入っていない方は、「〇〇△丁目」のような形で出していただくことになるかと思います。</p>
市民文化 交流館	<p>17ページの指定袋の種類・規格ということで、市の想定している価格というものはどれくらいになるのか。青森市をみますと、町会名を書かせるようにして、書いていない袋があっても後からそれが無くなっていると聞いております。衣類などが再資源化していくのは理想として賛成ですけど、具体的なアクションプランに対して肝心要なところを濁しているような感じがする。もう一つ、カラスの被害はうちの方ではかなりあり、家内もダンボールで出している。鳥獣法の問題とか色々あると思うが、電話で聞いたら、それは町会の話です、個人で責任を持ってくださいということで、市の人は逃げてしまう。肝心要の収集する前の取組が無責任だと思う。</p>	<p>市として行うのは、指定袋の大きさや厚さなど仕様を決めて、事前に登録した民間事業者が、それに適合したものを自由に製造し、流通するという形になります。市が価格を決めることは出来ないため、民間の事業者の競争で決まるという形になります。青森市をみますと、だいたい45リットル袋1枚15円程度で売られています。市で何円になるか想定はしていませんが、似たような仕様ののであれば、青森市はそのような価格になっています。また、最終的なごみの処理はどうすればいいのか、指定袋を使わなかった場合などについては制度が変わるということで混乱することもあるでしょうし、町会の方については今後ご苦労されるということもあると思いますので、個別に対応していかなければならないと思います。カラス対策についてダンボール出しをしている所もありますし、それ以外にもポリバケツで出しているところもあります。ごみ集積所の補助も続けていますので、そういった制度</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		を活用していただくとか、ボックスを活用できない場所については、今年度から収納枠の補助も始めておりますので、市として出来ることを、今後も強化していきたいと考えております。
市民文化 交流館	青森市の厚さはどれくらいになっておりますか。	青森市は0.025ミリです。ただし、弘前市の方がごみ袋の種類は少なく、1種類なので単純に厚さだけでは価格は決まりませんが、他の要因もあり結局何円になるのかということとはわかりません。
市民文化 交流館	他の方が持ち込んだ場合に、青森市の場合は、個人情報の問題から、市で回収するため開封はしないで下さいと言っている。個人情報については弘前市ではどのように考えているか。町会で開いても良いか。	当市は全く取り決めがないので、町会によっては袋を開いて調査しているところもありますし、市の担当が要望に応じて集積所に行って調査する場合もあります。他の市外の方の連絡先が出てくれば、その方に連絡をして返却するということも年に何件かあります。あくまで、指定袋制度の概要なので、細かいところについては伺ったお話を反映させながら進めていきたいと思っております。
市民文化 交流館	ざっと指定袋の料金を計算したが、青森市が0.025ミリで1,560円だが、弘前市で0.03ミリになった場合、1,700円から2,000円になります。青森市、八戸市と比べると弘前市は低所得者が多く、1,700円～2,000円というのは生活保護者から見ると大変である。それだけでなく弘前市は国民健康保険料や介護保険料が高いので指定袋制度の導入は反対です。どうしてもするということであれば、生活保護者や税金を払えない方に支給するなどの施策をやってから導入するべきだと思います。	指定袋の算出については、単純に厚さによって比例するというものではありません。同じ0.03ミリで他の東北の指定袋を実施している自治体であれば12円、13円という自治体も勿論あります。当市の案は燃えるごみと燃えないごみが共通ですが、共通ではない場合でも安いという自治体もあり、単純に厚さで値段が比例するわけではないということは理解していただきたいと思っております。低所得者への対応ということで、いただいた意見を踏まえて検討していきたいなと思っております。ただ、現時点ではまだ想定はしていません。

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
市民文化 交流館	<p>とにかく資源ごみを減らして燃えるごみを減らそうとしているが、相変わらず資源ごみが載っている。いくら分別をしてもごみの総量に含まれるので、このデータの出し方はおかしいと思う。単純に燃えるごみだけを家庭系ごみに分けている自治体もあると聞きますのでこれは改めるべきだと思います。新聞報道されてからこのごみの問題というのは確かに有料化という表現は無くなりましたけど、指定のごみ袋を使用するという事で何も有料化とは変わらない。今まで一袋6円くらいが15円になる。それがいくらになろうが、指定袋自体が有料化だという意見が結構ある。今まで買い物袋で出さざるを得ないお年寄りや低所得者の方は、小さい袋をやっと持って行っている。ごみ袋も買えないという人も現実にいるわけで、ごみの集積所を見ますと買い物袋で出しているのが3分の1くらいは出している。その残ったごみ袋は、誰がどのように対応するのか。それを町会でやって下さいとなれば町会は解散だという意見が出ている町会もある。今でも町会はギクシャクしている。有料化とは言わないけど、実質有料化ですからもっとコミュニティが壊れていくという点から見ますと、この指定袋制度というのは町会を壊してしまうという意見が多かった。</p>	<p>家庭系の燃やせるごみの内訳ということで、ここでお示ししたいのは全体のごみに資源物が入っているということではなく、燃やせるごみの中に資源物が入っていますので、減らせる部分があるのではないかとということをお示ししています。お話があったように資源物を抜いた値で目標値を定めているところもありますが、国全体の目標値が資源物を含んだもので、資源物を抜いた目標値と比較するのは意味が無いということで考えております。総排出量を減らすということをまずは考えていきたいと思っております。分別をすればいいということではなく、そもそもごみになるものを出さないということを示していかなければならないと考えているのでご理解いただきたいと思います。また、指定袋制度は有料化と変わらないのではないかとこの意見は他にもいただきますが、国が示した考え方で指定袋制度はあくまで袋の価格のみの値段、そして有料化は袋の価格にごみ処理手数料を加えた値段で、自治体に歳入が入るという明確な違いが示されています。ただ、指定袋制度になることによって負担が増えるご意見については最もだと思しますので、ご意見を受け止めていきたいと思っております。ただし、青森県全体の指定袋を導入している自治体で低所得者対策、減免制度を実施している自治体は無いので、低所得者対策をしていくのは難しいですが、そういった市民の意見を聞きながら今後考えていきたいと思っております。残った袋について、市が最終的に回収しますと言ってしまうとルールが無くなってしまいます。町会の皆さんには負担をかける部分があると思っておりますので、町会</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		と市がうまく連携しながら個別に対応していかなければならないと考えています。
市民文化交流館	木の枝というのは縛って出せば良いということですが、畑や庭の草類が春だけで大体10袋、秋にまた10袋ぐらいの量が出る。道路に落ちている葉だけでも1袋になる。外から見える袋であればこういったものは対象としないごみにしてもらうように検討していただきたいと思います。	市の案としましては、葉などについては指定袋に入れて出してもらうように考えております。町会の清掃活動によって生じたものについては、事前に申請いただければボランティア清掃ごみという扱いで、袋をお渡ししたいと考えております。
市民文化交流館	木の枝とか言うけど、みょうがにしても下から上まで寸法がすごく、縛ると木と同じ状態です。梱包すれば出せるのか。草は全部指定袋に入れないといけないということか。	現在の案では葉については例外なく全て指定袋に入れていただくということで考えております。そこについてはあくまで案ですので、今後市民の皆様から意見があれば変更する可能性はあります。
市民文化交流館	前の意見交換会の時は、草とかは対象外にするような案が出ていた。	答申をお示ししたときは、草についても努力して減らすことのできないごみということで対象外としていました。指定袋については手数料を含んでいないため、対象に加えたという経緯があります。
市民文化交流館	私はごみに関することを15年以上やっておりますけど、非常に困るのがみょうが、紫陽花です。縛って出せば良いのではという意見も出ましたが、非常に散らかる。私としてはできるだけ袋に入れていただいて出してもらいたい。持っていくときに散らかるので町会として非常に困る。長さも1メートルも1メートル50センチもある。とにかく何でも袋に入れてもらえば非常に綺麗になります。それを何とかお願いしたいと思います。	前回までの意見交換会で我々が思ったことは、これまで市がルールを定めていないことに対して、町会の皆さんに多大なご苦勞を強いていたということを実感しましたそういったことに関して、市としましてもできることはやっていかないといけないということで、今回手数料を含めない指定袋制度の導入を検討させていただいています。先進地自治体の例を見ますと、草については例えば有料化をしている自治体でも草だけは有料化ではなく指定袋で出して下さいとしています。町会のみなさんに集積所を綺麗に使ってもらいたいということ

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		もありまして、あえて草は対象に入れさせていただきますました。賛否両論あると思いますが、意見を踏まえて、どちらが望ましいのか検討していきたいと思います。
市民文化交流館	平成30年度中を予定しているということで、その前に町会単位で説明会を開いて対応できるものは対応しましょうという説明がありましたが、いつまでなのか。議論してほしいものにもう終わりましたとされるのが良くある。30年度中とあるが、いつまで町会の話し合いを聞いてくれるがリミットなのか教えていただければ、町会に帰って議論する。収集がつかなくなるのが予想されるので、そのゴールを教えていただきたい。それに向けて町内の中で議論して、市役所の方をお呼びして色々と意見交換をさせていただければと思いますので、スケジュールを教えてください。	先般の議会で表明させていただきましたが、平成30年度中の予定ということです。実施する際には何ヶ月間は移行期間というものを設けようと思っております。実施する前は色んな問題が生じるとありますのでルール調整は行っていきたいと思っております。今後のスケジュールですけど、説明会を8月9日まで市内6か所で行い、それが終わった後に関係条例の改正というものがあります。その後、例えば個別に町会の役員会や集会などに積極的に呼んでいただきたいという周知を行っていきたくと考えています。本格実施の前まではルールの微調整はしていきたいと思っております。
市民文化交流館	条例を改正してやりますっていうのは市長名ですか。条例の施行日が何月何日と出てくるのか。	条例については今後議会に上程し、議決後公布します。どの条例でも一緒ですが市長名で公布し、附則でいつからその条例が効果を発するというのを記載します。今の段階で平成30年度中ということで具体的な日時は決まっておりません。公布の仕方としては色々な方法があり、その段階で日時が決まっている場合は平成〇年〇月〇日から施行するという書き方もできますし、その段階でまだ決まっていない場合は、条例の交付については別途規則に定める日から施行するという例もあります。
市民文化交流館	話し合いする時間があればいいなと思っていましたので、別に日にちが決まればその前にやろうと思う。	細かいところは、条例で決められませんが条例の公布後でも時間はありますので適宜ご相談ください。

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
市民文化 交流館	<p>ごみ袋の厚さについて、先進自治体の検証の結果、破れにくい厚さ0.03ミリ以上ということですが、どういった検証を行ったのか。私は今、連合会指定の0.02ミリのごみ袋を使っていますが、破れやすいなとか二重にしないといけないとはありません。もちろん0.02ミリのものよりは0.03ミリのものの方が高くなるというのは分かりきっている事なので、これは0.02ミリの方が買う方の負担としても安くすむというのと、プラスチックという資源の削減にもなると思うのですがどうでしょうか。あと、製造に置いて業者向けにこういった説明会を行う予定があるのでしょうか。</p>	<p>袋の厚さについて0.03ミリ以上とした理由、破れにくい厚さを市が検証したということについて、具体的には先進自治体、県内10市、当市外はすべて指定袋を使っていますが、多かったのは0.03ミリ、次に多かったのは0.04ミリが多かったです。青森市は0.025ミリです。先進自治体に聞いたところ、燃やせないごみを入れる場合は厚目のものでなければいけないという意見がありました。市としましては、燃やせないごみに対応できる厚さ、後は燃やせるごみ、燃やせないごみを共通にすることによって安くでき、市民の方に負担を出さないやり方なのではないかと思っています。県外では0.04ミリというのも多く、当市が特段厚いという訳ではないということです。また、業者については指定袋を実際にやる時には、規格と仕様のみを設定して登録した製造業者のみが製造できるというような制度になりますので、制度が決まり次第、指定袋制度になりますというようなことを、議会承認後に事業者向けの説明会、実際に販売するスーパーやホームセンター、コンビニといった店舗向けにも説明会を別途設けたいと思っております。</p>
市民文化 交流館	<p>草の話ですけど、本当に深刻だと思う。一度に10袋も25袋も出てくる。今現在でも草に関しては、持っていけない人は敷地内で燃やしている。いくら言ったって、持っていけないから結局晴れの日に乾かして、誰も近所の人がいなくて燃やしている。市役所はそういう人がいたらぜひ教えてくださいと言うが、現場を見ていなければ言えない。あきらかに燃やした後がある。デレキまで準備している。</p>	<p>草の出し方について、袋に入れて出してほしいというニーズもありますし、やはり袋は負担だという方もいますし、どちらがいいということではなく、今後意見を踏まえながら検討していきたいと思っています。敷地内に燃やしている人がいるということで、こちらについては通報があれば行きますし、通報がなくても市の方で現場周りしているときに発見した場合はもちろん注意や指導はしております。こちらについても今後強化して</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
	<p>市外から持ってきたごみについてですが、指定袋にしたから減るという問題ではない。この近隣の自治体によっても60円から40円とか。弘前が15円くらいであれば、弘前のごみ袋を買って捨てた方がまだ安いという話も町会の中では実際に出ています。指定袋にしたからといってごみが減るという問題ではなく、予定の32年度に目標達成できなかったからやはり安いのは全然効果ありません。高くします。そういうのに繋がる。指定袋ということ自体、やはり問題。子どもさんがいるところはおむつから何からごみが多いわけです。子どもがいるお母さんからも不安が出されていた。それだけでなくお金がかかるのに、さらにお金がかかるということになれば、どう暮らせばいいんだろというようなことです。草の話にしてももっと細かく市民の意見をぜひ聞いてほしいと思う。</p>	<p>いきたいと思います。指定袋に入れたからごみが減る訳ではないということについて、ごみが減る理由として、他自治体からの持ち込みが無くなるから減るということでは考えておりません。指定袋制度の目的で一番重要なのが、ごみの見える化の推進です。普段出しているごみというのは減らせない、必ず生じるものだと思い込んでいますが、自分が毎日どれくらいのごみを出しているのかということを意識していないと思います。指定袋制度導入で、特に考えてほしいのが、自分がどれくらいのごみをどれくらいの種類を出しているのかということ意識付けていきたいと思います。どういった減らし方ができるのかということを示していく必要があります。これまではどれくらい出しているのか比較できなかったと思います。そういったところを、今後は同じ規格、袋に出すことになります。例えば何人世帯で何袋出していて多いとか、少ないとか、賞味期限切れのものがたくさん入っていたとか、そういったことを意識付けていきたいというのが指定袋制度の一つの目的です。他自治体からの流入は止まらないのではないかとありますが、全く指定袋がない状態は流入が進むと思っております。もちろん指定袋になっても他の自治体は当市より袋の価格が高いわけですので、その流入の可能性はあると思いますが、記入欄を設けるなど町会独自にルールを定めることによって、この袋が他の人が出したのか区分ができるようになると思います。そういった区分をして市が町会から情報を受けて指導をしやすくなると思います。単純に価格の差だけで流入が減る、増えるではないと思</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		っております。市として、そういった流入を防ぐ努力はしないといけないと思っております
中央公民館 相馬館	何故人が集まらないのか。そこを考 えてもらいたい。PRをもっと出せば 人が来ると思う。お知らせが無いので 知らない人がいるのではないかと思 う。	前回１月から４月まで意見交換会実 施し、広報ひろさき、町会の回覧、ごみ の推進員さんにも手紙を出して色んな 周知をしました。今後は我々が会場 を設定して行う周知もですが、町会の個 別の集まりというものに１５分でも３ ０分なりこちらから出向いて行く様な 形を検討しています。皆さんそれぞれ忙 しいので、中々個別に参加できないとい うこともあるかと思えます。すでにある イベントや行事に行くような形で、今後 人数を動員できるような説明会をしたい と思っております。具体的には、１０ 月以降に個別に町会などからお話をい ただければ、土日でも時間関係なく伺い ますということで周知を始めていきま すので、もしよろしければそういった形 で申し込んでいただければ、こちらとし ても助かります。
中央公民館 相馬館	各町会も３月の末になれば総会が ある。そういう場を利用したらいいと 思う。	もっと細かくやっていくつもりです。 こちらから出向いたりすることも精力 的にやっていきたいと思えます。
中央公民館 相馬館	平成３０年度中に実施予定と書いて いるが、来年ですけど、来年の３月 の総会とか末だと遅いですか。	平成３０年度からの指定袋について、 このようにやりましょうという説明に あがる内容だと思いますので、遅くはな いです。決まったことについて説明して 回りたいと思えます。
中央公民館 相馬館	例えば集積所に出すのは指定袋以 外だと、今だと肥料袋とかでも出して いるが、そういうのは出せなくなる ということですか。	本格実施では出せなくなります。た だ、移行期間も無ければ周知もなかなか 進まないですし、今までの袋も何かしら で使いたいということもありますので、 移行期間を設定しなければならないと 思っております。

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
中央公民館 相馬館	今でも肥料袋で出している人もいますし、土嚢袋で出している人もいます。中に何が入っているのかわからない物もあるので、守ってくれば良い。黒石のごみを焼却場に個人で申し込むと、何キロまで無料だと聞いたが、弘前市も同じか。	これまで黒石市と同様に５０キログラムまでは無料でしたが、平成２８年４月からは、無料部分を撤廃しました。現在は燃えるごみの処分手数料は１０キログラムごとに１００円となります。
中央公民館 相馬館	ボランティアで出たごみは、指定袋を配付すると書いてあるが、ボランティア事業の場合でも袋は有料で買うのか。	その場合は環境管理課に連絡いただければお渡しするような形をとりたいと思っています。
中央公民館 相馬館	指定袋以外で置いていかれた場合は町会で処理をしないとイケないのか。	現在も大体持っています。分別不十分や日にちが違ふなどであればステッカー貼って置いていきます。本格実施になった場合はまずステッカーを貼って様子を見させていただくことになります。その後の対応については、ケースバイケースになると思います。町会で対応できない場合は、環境管理課にご連絡いただければ現場を確認します。今までも町会で対応していたとなれば、また引き続きお願いしたい場合もあるかと思いますが、その都度ご連絡をいただければ負担にならないような対応したいと思います。
中央公民館 相馬館	袋に名前を書くのは守ってもらえるかどうか不安です。守ってもらえないような感じがする。	名前についても色々ところで調べてみたところ、五所川原市は必ず名前を書かせて、名前を書かなければ収集しません。確かにそこまですると、ごみの量は少ないそうです。大館市は、人口規模や街中の人のことを考えると、苦情がひどくて出来ないという意見もあったそうです。当市の場合は、市街地と、出張所地域、総合支所地域で要望が違います。書かせたいというところもあれば、書かない方がいいというところもあり、ここについては意見をいただきながら

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		大変悩んでいるところです。市としては、何かしらは書いてもらおうということでアナウンスはしていきたいと考えております。書かなくても良いとしてしまうと皆さん書かないので、町会によっては独自のルールを作ることも可能だと思います。町会名を書いてなおかつ、町内の人でなければわからないような記号を書いてください等、集積所を町会が管理しやすくなると思いますので、ぜひ活用していただきたいと思います。
中央公民館 相馬館	班の番号とかは良いと思いますが、個人名書くというのは抵抗がある人がいるかもしれない。我々は良いと思いますけど、例えば若い女の子がいる家とか狙われる可能性も出てくるかもしれないので心配はあります。地元でマンションを経営している人から聞いたが、マンションでさえ書かないで出す人もいると聞いている。町会名と班の番号くらいは良いと思うが、無記名というのはどこから来ているのかわからない。	何でも出せるということでごみなのか、ただ置いていったものなのか町会で困っています。収集業者も困っているということもありますので、まずは何もルールが無い状態から脱却しようというのが今回の制度となっております。
中央公民館 相馬館	指定袋は良いと思うけど、バラバラに何でも入れればやっぱりそれだけ雑になると思いますし、中身が見える袋でなければ出せないとなれば、それなりに気を使って出すと思う。	無回答
中央公民館 相馬館	無人の回収施設は弘前市に何ヶ所くらいあるのか。	これは例として、ある事業者が一つのホームセンターに設置した資源物を持ってくると、ポイントを貯めることができる場所として載せています。そういった店舗がスーパーやホームセンターに複数あるということで、市で民間業者がどこにありますとは紹介できませんので、具体的な事業者名は出せません。大手スーパーやホームセンターで何ヶ所

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		かやっています。民間の事業者がやっていくことについては市としてもPRは協力していきたいと思います。
中央公民館 相馬館	スーパーに置いている回収施設は市と関係ないものですか。	民間回収は、あくまで事業者が行っているもので、その事業者が行っているということが市民に伝わっていない状況です。スーパー等でこうした取り組みをやっている周知をしていきたいと思います。
中央公民館 相馬館	雑誌など、資源ごみの日まで待っていても、出し忘れたりすることもあるので、その都度出せるのであれば便利だと思う。	今後の参考にさせていただきます。
中央公民館 相馬館	ごみ集積所があるが、この事業を始めるとしたらごみ集積所に貼る何かコーティングしたような物で、「指定袋以外は出せません」など、大きめに表示したい。	指定袋が始まる前からやりたいと思っています。いつから始めますというような感じで各集積所に貼りたいと思っています。
中央公民館 相馬館	五所地区だけでも7ヶ所ある。文字を大きく、いつから実施しますなどを前々から周知をしないと、急に張り紙しても守ってもらえないと思う。半年ぐらい前から表示しておいて、いつからそうなりますという張り紙を配布してもらいたい。	先進自治体の青森市でも集積所のボックスに雨に強い看板で、いつから始まりますということと、簡単な制度の概要を実施何ヶ月前からやっているという事例もあります。当市もそういった事例を参考に、予算の関係もありますが、前向きに検討していきたいと思います。
中央公民館 相馬館	もし有料になるのであれば、買ってもいいですし、町会に希望枚数とか聞いて配付してもらいたい。	町会には負担させないつもりで予算要求しますので、町会の集積所の分は予算措置して、他に何かあれば町会にお願いするかもしれません。
泉野多目的 コミュニティ 施設	記入欄に誰が出したか記入しなくてもごみは持っていくと書いてある。今までの袋でも持っていくことになるのか。	指定袋を使用しないと収集しません。記入欄という指定袋の中に記入枠を設定したいと考えています。氏名を記入させたいという所もあれば、プライバシーの問題で記入させたくないという所もあり、市内の都市部と出張所地域ではニーズが異なります。市としては両方のニ

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		<p>ーズを汲み取りたいと考えています。ただ、全く記入しなくても良いとアナウンスしてしまうと誰も記入しなくなるので、町会名や町名など何かしらは記入していただきたいと考えています。記入していないから収集しないということは出来ません。指定袋を使用している場合は記入の有無に関わらず収集します。あくまでも、素案であることから意見を踏まえて精査させていただきます。</p>
<p>泉野多目的 コミュニティ 施設</p>	<p>毎戸収集できないのか前にも質問したが、叶わないのか。</p>	<p>限られた財源の中でどちらかと言えば、ステーション方式になるような方策を取っています。2、3世帯集まってステーションを作るのであれば、折りたたみの収納枠を補助するといったことも行っています。毎戸収集を増やす方向にはなっておりません。</p>
<p>泉野多目的 コミュニティ 施設</p>	<p>市から補助をもらい、40ヶ所ぐらい町会にごみボックスを設置している。通りがかりに放置していく、いわば不法投棄をするような輩が結構いる。不法投棄は犯罪であるが、それを見極めることは不可能に近い。40ヶ所もあるごみボックスを町会が管理しているものの不法投棄の見極めは難しい。どうしたら良いか悩んでいる。</p>	<p>そのように困っているという話はよく聞きます。原因としては、現在ごみ袋はどのような物でも良く、排出した人が特定できないことであり、解決の一助として指定袋を活用していただきたいと思っています。例えば集積所を使う人しか分らないような番号や班記号を記入することで、それ以外のごみが出されたときにおかしいと分かります。そうした場合には環境管理課に連絡いただければ、それを手掛かりにごみを調べさせていただきます。町会以外と判断できれば指導しやすくなります。現在、そういったこともないので町会にはご迷惑お掛けしています。指定袋制度をきっかけに対策していきたいと思っています。</p>
<p>泉野多目的 コミュニティ 施設</p>	<p>例えば、指定袋以外のごみ袋で出した場合は回収しないのか。</p>	<p>指定袋の開始時期を平成30年度中とさせていただいていますが、指定袋の完全実施となった場合は収集しません。先進自治体の例をみてもそのような</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		っています。ただし、ごみ袋を十分持っている方も多数いますので、完全実施になる前には移行期間ということで併用して使うことができる期間を設けるのが通例です。それについても考えていきたいと思います。また、その期間はどれぐらいになるのか勘案しながら考えたいと思います。直接搬入の際の袋やプライバシーに配慮した内袋の使用などご意見いただきながら検討したいと思います。
泉野多目的 コミュニティ 施設	指定袋以外は回収せず、置いていくということか。そうした場合はごみボックスに残っていることになるが、どういった扱いになるのか。	不適正排出も同じですが、ステッカーを貼って一定期間置きます。排出者が気づいて持ち帰れば良いがそのようになっておらず、町会が困っていると思います。連絡いただければ中身を確認させていただきます。
泉野多目的 コミュニティ 施設	ごみ置き場を貸している人や近くの方が一番困る。それが腐って3日も4日となれば、ごみ置き場も替えてもらいたいという可能性が多くなってしまう。	生ごみの場合は何日も置けませんので、1回は収集せず様子を見させていただくことはあると思います。午後には回収するなど他の自治体の方法も聞きますが、何でも収集してしまうとルールが崩壊してしまいます。ケースバイケースで対応していますので相談いただきたいと思います。
泉野多目的 コミュニティ 施設	例えば、指定地区を設けて、3～4か月間モデル的にテストを行い、その上で少しずつ改善していくのであれば良いと思う。いきなり、全市で実施するのは無理があるのではないか。	モデル地区というのは考えています。使い勝手や問題点を調べていきたいと思いますが、開始は30年度中に一斉に行いたいと考えています。
泉野多目的 コミュニティ 施設	黒石市で氏名記入やっているが、ごみが盗まれた事例がけっこうあった。そういった近隣の情報の対策は考えているか。	指定袋導入について、当市は後発自治体であります。先進自治体の事例があり、近い所では五所川原市はフルネームを記載しないと収集しません。大館市も指定袋であるが、記入はさせていません。ある程度、人口規模や土地の事情でルールは違うので、懸念がないような制

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		度を作りたいと思います。
泉野多目的 コミュニティ 施設	<p>販売方法について値段の差があるということだが、市で考えているおよその価格は町会で売っている値段とどれくらい違うのか。厚くなるということで、当然値段も高いと思うが想定している価格は。競争すれば安くなると思うが、いくらで売っても良いというは無責任のようにも思う。最高価格の設定は必要だと思う。今日の説明で減量のために、回収ボックス等いろいろ進めているという事で大変良いと思う。以前、説明会で有料化の話をした際にごみの量が多く、有料化すればごみの量が減るという説明があった。分別が進んだから減るのではなく、市で回収したごみはごみの総量になうという矛盾が解ってきた。それを受けて回収を拡大しているのは大変良いことである。まだまだ、回収できる場所を多くしていく必要もあるだろうし、回収場所の周知徹底も重要になるだろうと思う。指定袋の話が新聞等で情報が流れたときに、指定袋にしてもごみが減らなかったら、有料化するという噂が流れていたが真偽について教えていただきたい。</p>	<p>指定袋の価格について、市として袋の価格を決めることは独占禁止法に抵触するため、出来ません。袋の仕様や規格を定めて、民間の事業者が市場競争で製作することになります。市が価格を決めてしまうと、市場原理を妨げてしまうことになります。似たような仕様だと、青森市が平成２８年４月に実施している指定袋では、４５リットル袋が１５円程度で売られています。分別した物もごみの排出量に含まれるのでそれは矛盾しているのではないかとということについて、分別することによって残った燃やせるごみに、例えば食品ロスといったものが見えてきます。こういったものが見えてくるとごみに出さないようになります。分別そのものがごみの減量に全く繋がらない訳ではないと考えております。短期的に見ますと分別したものも含まれますが、ごみを普段から見つめ直すような意識づけが働き、結果的には排出抑制に繋がると考えております。いずれ有料化になるのではという事については、当市の現状は７３３グラムまで減ってきていますが、国や県と比べるとまだ多いです。平成３２年度１人１日当たりの家庭系ごみ排出量６８０グラムを目指しています。この数値をクリアしないと、その時点で有料化するとか、しないではありません。指定袋を導入してもクリアできない場合は、一つの考えとして有料化もあるということです。</p>
泉野多目的 コミュニティ 施設	<p>青森市の場合、１枚１５円ということで、現在町会で売っているのは同じ容量だとすればいくらなのか。１２～１４ページに記載している回収され</p>	<p>町会連合会で販売している推奨袋とどれくらい違うかということ、一概に比較はできません。町会連で販売しているのは４０リットルという大きさで、今回一</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
	たものは、弘前市のごみの総量に入るのか、入らないのかお伺いしたい。	一般的に使われるのが45リットルで厚さも0.03ミリです。町会連のごみ袋が約8円で、青森市が15円ということですが、どちらも適正価格としか言えません。大きさも厚さも違うので、価値の差は無いと考えます。民間の拠点回収の総量は市の総量に含まれません。民間が独自に運用しているもので、市民が活用できるよう支援、PRしていきたいと思っています。
農村環境改善センター	今まで使っていた緑色の袋は使ってもいいのか。まだ持っている人もいると思う。リサイクル袋も市で指定されている。それも町会で斡旋しているので、持っている人がいると思う。そのままリサイクル袋として使えるのか。	リサイクル袋についてはそのまま使っていていただいて結構です。基本的にこの指定袋制度は平成30年度中の実施を予定しております。開始した後、緑色の袋は原則的に燃やせるごみと燃やせないごみには使うことはできなくなります。ただし、意見があったように今まで買ってしまった緑色の袋が余ってしまうのではないかという意見が他の会場でもありまして、他の活用できる方法も今検討しています。具体的には、他の資源物に一時的に使えるようにするなどの考え方ができます。まだ確定ではありませんが、そういった形で緑色の袋が無駄にならないような形を考えています。基本的にはこの時期が来たら黄色の袋でしか燃えるごみと燃えないごみは出せなくなるという認識でいただければと思います。皆さんも緑色の袋を今後買うのであれば、あまり在庫を抱え込まないように買っていただければと思います。
農村環境改善センター	サイズにもよると思うが、価格はどれくらいを予定しているのか。	価格については、一般的に町会連合会で売られている40リットルの袋で、1枚当たりに換算すると約8円になります。ただし、40リットルではなく、45リットルにしてほしいというのが先進自治体でも話が多く、45リットルを

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		<p>作ろうと思っております。県内でも青森市が指定袋を導入していますが、一般的に使われているのが４５リットルで少し厚いです。青森市の例では、４５リットルという条件であれば、約１５円で売られているということです。それについても、４０リットルの８円と４５リットルの１５円、厚さも違い、様々な要素もあります。一概に比較できるものではありませんが、情報提供ということでお伝えします。</p>
<p>農村環境改善センター</p>	<p>緑色袋を町会連を通して買って使っていると思います。６月に１回注文を取っていて皆さんに配布しましたし、１０月頃に２回目の注文が来ると思います。そうすると、来年の３月ですか。その時に急に黄色になったから緑色の袋使えませんかよということになれば混乱が出てくると思いますので、早めに広報などを通じて市民の皆さんに周知しておかないと様々な問題が出てくると思います。１つくらい多く買わないといけないという人がいると思う。３月になって、黄色い袋でなければならないということになれば、余った袋はどうすればいいのかという苦情が出ると思うし、様々な問題が出ると思います。多く買わないでという話でしたけど、こういう場に来ている人はある程度わかっていますけど、一般の人はわからないと思います。これについての啓蒙は十分あとで文句がないよう、ましてや袋を斡旋した町会長に文句が来るようであれば我々は困るわけです。それについて責任を取りようがありませんので、そういう問題が起きる前に当然みんながわかるように周知徹底はしてもらな</p>	<p>今のお話十分こちらでも反映させながらこれから色々対応していきたいと思います。また、試行期間のようなものも設けていきますので、急にこの日から使えないということにはなりません。ある程度何ヶ月間は試行期間で指定袋で出しても、余った分の袋で出しても良いという期間は設けていきたいと考えております。</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
	いと、切り替えるときに十分気をつけて対応してもらいたいと、よろしくお願いします。	
農村環境改善センター	広報の資源物の売り払い等に得られた収入1億1500万円について、これもうちょっと検討してもっと多くできないかなと思うが、そこら辺は如何なものでしょう。	基本的には、市でごみを収集して、その分別したものを資源物として売り払いをしています。分別を今以上に徹底すれば増えると思いますが、資源物の売買だけではごみ処理経費の一部しか賄えません。周知徹底はしていきますが、市場価値というものは売り方とかではなく、引き取り価格というのがある程度決まっています。高く売れるようにはしていきますが、この数値を抜本的に変えていくのは難しいと考えています。
農村環境改善センター	ごみを集めてご飯を食べているような人もいたみたいなので、その辺もきちんとしてもらえればこの収入も増えると思います。	集積所から持ち去りをする人がいるということだと思いますが、確かにそういった方がいるのが現状だと思います。市としましてもそういった人を特定できるように努め、注意や啓蒙活動をやっていききたいと思います。
農村環境改善センター	販売店ですが、今までどおり町会連を通すのか。	基本的に市で想定している販売方法は、お示ししている袋の大きさや厚さ、色といったものを市が決めるということです。そして、その仕様を満たした袋を事前に登録した業者が自由に流通するというのが今回の指定袋制度になります。登録をした業者であれば町会連合会であっても技術的には販売することは可能です。ただし、町会連合会がこの制度に参加するかどうかということになりますので、市としては、そこは妨げませんが町会連合会がどう考えるのかということになります。
農村環境改善センター	この地区の販売店というとコンビニもないし一般の個人商店ぐらしか物を売っているところが無い。そういった販売店が無いから町会を通じ	先進自治体でも多くあるケースということで我々も検討しているところです。買い物する場所がないということで、基本的にはコンビニやスーパーさん

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
	<p>て買っていますが、買い物の過疎地という位置付けで、そういうのを検討してもらえればなと思います。</p>	<p>で販売するのが主ですが、例えば弘前市の販売店だけではなくて、近隣の境界から近い販売店でも取り扱ってもらうように市が働きかけはしていきたいと思っています。ただし、制度として、市は販売を強制できませんので、コンビニやスーパーで置いても元を取れないので置きたくないと言われると、そこまで強制はできません。市としてはそういったニーズをいただければ、直接担当者が店舗等をお願いに行きたいと思っております。</p>
<p>農村環境改善センター</p>	<p>清掃ごみと剪定枝の取扱ですけど、これには草刈の草は入っているのでしょうか。</p>	<p>草については入っていません。草について入っていない理由として、県内で弘前市以外の市が指定袋又は有料化を実施しているとお話しましたが、草を対象外としている自治体は指定袋制度を実施しているところはありません。有料化の場合は対象外としているところがありますが、指定袋制度の場合は集積所に指定袋以外のもので出されてしまうと散らかってしまうなどのデメリットがあるということで一般的に指定袋の対象としています。当市においても剪定枝については今までどおり縛って出していただき、葉については袋に入れて出していただきたいという案で進めているところです。</p>
<p>農村環境改善センター</p>	<p>この黄色い袋でやれば全部問題簡潔ですか。今までどおりにやってはダメですか。</p>	<p>この指定袋制度を導入した目的としてごみの減量化・資源化の推進ということで、一つはごみを減らそうということです。基本的には今まではどんな袋に出しても良かったが、今後は決められた袋に出すことによって、それぞれ自分がどれくらいのごみをどの程度出しているのか意識を以前と比べてするようになると思います。例えば、今まで賞味期限切れで捨てていたようなものを気づくようになり、そういったものをごみとし</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		<p>て出さなくなるような動機付けが働くということで、他の自治体も結果を出しており、それを目的として行います。二つ目の目的としてごみの分別や適正排出の推進ということで、まずは燃やせるごみと資源ごみをきちんと分けるということで分別を促進したいと考えています。周辺の地域からごみが捨てられて集積所を管理している町会の人困っているという地域が沢山あります。例えば記入欄を設けることによって、町会のルールを独自に決めたとなると、その守った人と守っていない人を今後分けることができます。ルールを守らない人を指導するに支障があったが、今後はきちんと出している人と出していない人の量など地域ごとの統計を取っていきたいと思います。そういったものを通じて他の市町村から捨てられている、捨てられている場所はどこかをしっかり調査して、できるだけ町会の皆さんの負担を減らせるようにやっていきたいのが一つの目的です。こちらの地域では集積所があると思いますが、場所によっては袋が出されていてもごみなのか収集作業員がわからないことが結構あり、収集してトラブルになるということもあります。そういったことを防ぐためにも、ごみだとわかりやすくするために指定の袋を作ることが3つ目の目的です。見えにくい袋だと、例えば鋭利なものなど危ないものが入っていて作業員がけがをしてしまうということがありますので、そういったことを防ぐのも目的です。指定袋というのはこういったことを防ぐ一つの方法になるとは思いますが、これだけで当市のごみが多いというのを解決できるとは思っていません。市として</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		もできることをやっていきたいと思います。
農村環境改善センター	<p>当然、我々町民は指定の黄色い袋で出してくれると思います。これは結構なことですが、どこの町会でも一番困っているのは、他所の地域の人がポイ捨てしていくことです。我々は黄色い袋で出しますが、通勤途中で捨てる人はレジ袋とかで出していったそれは回収されないわけです。それを各町会のごみに携わっている人がどういう方法をとって処分をすればいいのか、頭を悩ませているわけです。今までは指定の袋でなく緑色の袋も使っていましたし、ちょっとした買い物袋でも持って行ってくれましたので、対応している町会の方は残された場合は今まで以上に苦慮していると思います。それについてはどう思いますか。</p>	<p>原則として市民の皆さんには黄色い指定の袋を使っただき、使っていない場合は残していきますといった伝え方をしていくことになります。基本的には指定袋で出していない方が次には指定袋で出して下さいというのが原則論です。ただし、実際のところは町会の相談を受けながら、個別に残ったごみをどうするかは考えていきたいので、この場においては原則では指定の袋で出してくださいというところまでしかお話しできません。現在、どんな袋でも良いので捨てやすいと思います。指定袋になると、リスクを犯してまでとなると目立つため、指定袋になると出来なくなると思っています。ケースバイケースですが、相談していただき、負担にならない方法で、例えば今でも推進員の方が善意で仕分けしてやっていただいている町会もありますし、市でやってもらわないと困るという場合もあれば、こちらで伺って迷惑をかけないようにしたいと思います。</p>
農村環境改善センター	<p>水キリ器を毎戸に配付とかできないのか。</p>	<p>水キリ器は種類がありまして、配付した水キリ器というのは、生ごみを挟み込んで手を汚さず捨てることができます。水切りネットを使って手で絞って捨てていただく、一日置いて水を切って捨てていただく等、やりやすい方法で協力いただければと思います。</p>
農村環境改善センター	<p>黄色いごみ袋をやれば、全部良いことばかりのような答弁である。失敗すればこういうことが起きるかもというは予測したことないですか。</p>	<p>良い事ばかりではないのではないかとのことですが、制度を実施しますとそれを守らない方がいて町会の人々が困惑することや、逆に不法投棄が増えるなど様々な意見があります。市としては最</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		終的に良い所、悪い所を比較して良い所の方が大きいということで採用するということです。悪いところについては、できるだけ無くし、皆さんにご迷惑をおかけしないように努めていくしかないと思います。
農村環境改善センター	去年、りんごを袋に入れて捨てるは駄目とされた。そしたら次の日から、私の畑の隣の川に捨てていた。そういうことがすぐに現れる。例えばそういうとき、黄色い袋ではないので持って行ってくださいと言ってもいいのか。	トラブルになるので、町会で開けられない場合は市にご相談していただくと、不要なトラブルが無くなると思います。指定袋制度を導入するにあたって五所川原市も視察しました。五所川原市はフルネームを書かないと集めないそうです。大館市は人口が多いので、名前を書かせるのは厳しいという話がありました。破けやすい袋でも、ダンボールでもなんでも良い状況で一番苦労しているのは町会の管理している人でご迷惑をお掛けしています。他自治体の対策についても情報を集めながら細やかにやっていきたいと思っています。
北辰学区高杉ふれあいセンター	ごみ袋の値段が違うという説明があったが、値段が違うというのはまずいのではないか。	指定袋については、規格や仕様を決めるだけで値段が違うことはあると思います。現在、推奨袋とされているものも、スーパーによっては特売品になったり、町会連合会で斡旋しているのは若干値段が高かったり、現在も決まっていません。逆に決めてしまうと、独占禁止法や価格統制など問題になる部分があると思います。
北辰学区高杉ふれあいセンター	・弘前ではどうしてプラスチックを燃えるごみとして出しているのか。	以前はプラスチックも分別していました。プラスチックを分別しても一つが綺麗に洗われていなければ、ほとんどリサイクル出来ていませんでした。皆さん一生懸命分別したものがほとんど燃やされているという実態がありました。また、収集コストもかかりますし、その他プラスチックは以前の施設だとダイオ

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		キシンの関係で、燃やすことが出来ませんでした。現在の施設はダイオキシンが発生しないような仕組みになっており、燃やした熱量で発電を行い、サーマルリサイクルにも貢献しています。様々なことを勘案した結果、燃やせるごみとして出した方が市民の負担にならないということで、総合的に考えて燃やせるごみとしたものです。
北辰学区高杉 ふれあい センター	他の市町村でプラスチックを燃えるごみとしている所は、多いのか、少ないのか。	処理をする工場の都合が大きく、黒石では施設で燃やせないのので、分別して集めてなるべくリサイクルできるものはリサイクルしたとしても、残りは燃やさず埋めています。しかし、埋立処分場の寿命が短くなります。当市は、燃やして容量を減らして埋立処分場の延命化に繋がっています。
北辰学区高杉 ふれあい センター	ここは農村部なので、農業委員会の時も意見が出ていたが、例えば黒星病のものを袋に入れて出すとか、剪定枝は町会によっては独自の回覧板を出しているが、多くなると出す人も出てくる。肥料袋やビニールはあまり出さなくなった。ハウスの破損したものなど。それは農協でもやっている。ただ、黒星病のものについては、ダメなのか何個なら良いとか教えてほしい。	農業系のごみは事業系ごみということになります。市で収集するのは家庭系ごみなので、農家の作業から出るものは全て集積所に出すことは出来ません。
北辰学区高杉 ふれあい センター	質問の答弁でそう言うのは良い。ごちゃごちゃしているので一般の人が全てわかるようなものを希望する。	当市は農業者も多いので農家が出す廃棄物についても今の話を参考に情報を伝えていきたいと思います。
北辰学区高杉 ふれあい センター	農家ではないのでそういったことは始めて知りました。	事業系ごみは全て集積所に出すことが出来ません。市内だとお菓子屋さんの前で大量に卵が集積所に捨てられているところがあって、どうみても家庭で使わないような量が捨てられています。店舗兼住居で、これは家庭から出たと言う人もいますが、明らかに違うと判断した

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		場合、収集しません。そういったところも家庭系と事業系をきちんと区別したいということで指定袋も有効かと思います。
北辰学区高杉 ふれあい センター	店舗兼住宅は自分で捨てているのか。	収集業者にお金を払って依頼しています。事業者も理解していないところがありますので、事業者向けのごみガイドブックを作って、適正に処理しないと違反ですということで事業所訪問している。
北辰学区高杉 ふれあい センター	一般業者さんにガイドブックは渡ってないのか。多分、店舗兼住宅の人はほとんどわかっていないのではないか。	渡ってないところもあると思います。お話のあった、家庭と事業所が一緒になっているところについては、全市的に収集するものにリサーチをかけてもらっており、そういった疑いが出てきたら市が直接、電話や訪問をして家庭系として出さないで下さいと指導を行っています。作成した事業系ガイドブックを、急に全事業所というのは難しいですが、全市的に指導体制は行っておりますので、今後も強化していきたい。
北辰学区高杉 ふれあい センター	事業系ごみはリサイクルに回っているということですか。	事業系ごみも分別をして中間処理施設に搬入された場合はリサイクルされます。
北辰学区高杉 ふれあい センター	ほとんどリサイクルされていないと聞いた。事業者の方も忙しくて分別している暇がない。	家庭系と比べると事業系は分別がされていない部分が大きいかと思います。各事業所に訪問して、直接課題を伝えながら指導していくというのを平成27年度から始めており、全ての事業者に行っていきたいと思っています。
北辰学区高杉 ふれあい センター	我々小さいときからお城と桜とりんごの町というキャッチフレーズでずっと来ている。お城と桜は経費もかけて研究もしているし、かなりのレベルでやっていると思う。りんごは生産、販売、それと教育、りんごが無くなれば特長が無くなるようなもので、	黄色の袋を使用するのは燃えるごみと燃えないごみだけです。スーパーの中身の見える半透明の袋は他のカン・ビンや容器包装などに使っていただいて結構です。燃やせるごみと燃やせないごみについては、今後それ以外の袋で出された場合は収集しないということになり

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
	<p>教育ということで農業委員会と連携して、りんごの投棄、剪定の処理、焼却、農薬の袋など教育ということで、お手数だとは思いますがアピールして強い宣伝をしてもらいたいと思う。我々みたいのはパソコンで作った小さい文書が来ても、見ているのかもわからないし、効果もわからない。むなしくなってしまうので考えてもらいたい。袋が黄色に変われば、スーパーの袋で出している人もいると思うが、スッキリわからせるためにはどういった説明で、どういった考え方で指導すれば一番良いのか。</p>	<p>ます。</p>
北辰学区高杉ふれあいセンター	<p>ステーションには白と黄色の袋しかないということですか。</p>	<p>その日によりますが、燃やせるごみの日は黄色だけになりますし、カン・ビンの日だと透明または半透明の袋になると思います。</p>
北辰学区高杉ふれあいセンター	<p>中身が見える袋でなければいけないのか。お店であれば中身が見えない袋を出しているところもある。そういったのは使わないようにすれば良いのか。</p>	<p>現場の判断となりますが、どれくらいが半透明なのかという議論になる自治体もあるようです。透過性が何パーセントなのかは分かりませんし、スーパーでも真っ白のものもあります。最近ではスーパーでも考えているのか、ゴミ出しに使えるように中身が見えるような袋が多いと思います。真っ黒や真っ白で見てもビンなのかカンなのか分からないと収集作業員の判断になりますが、それはなるべく避けていただきたいです。</p>
北辰学区高杉ふれあいセンター	<p>あまり、ごちゃごちゃしないようにしてもらいたい。ごみですごく苦労してきた。</p>	<p>指定袋以外のものを自分たちで調査できないから市に調査して下さいとお願いしやすくなるというメリットはあると思います。</p>
北辰学区高杉ふれあいセンター	<p>私が危惧しているのは、今よりトラブルが増えるような感じがした。燃えるごみの日に、指定のごみ袋以外の袋で捨てるが多くなるのではない</p>	<p>指定袋が始まると、すぐには周知されませんし、何回かそういったことがあると思います。経過期間を設ける予定で、ある一定の期間については、違う袋で出</p>

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
	か。	しても、ある程度は回収するようにします。経過期間が過ぎると指定袋以外は収集しないようになります。
北辰学区高杉 ふれあい センター	残されたものはどう処理すれば良いですか。	現在も燃やせないごみの場合は、次の燃やせないごみの日まで置いていますが、燃やせるごみの生ごみは長い間置けないと思います。他の自治体でどうしているかという、一回は置いていくそうです。そうしないと何でも良いになってしまうので、逆に收拾がつかなくなるそうです。ただし、時期にもよりますが、午前中は置いて、午後回ったときに収集するなど、一日も置けないことも多いそうです。冬場なら大丈夫という時があるかもしれません。中身を見て生ごみでなければ次の収集日まで置く場合もあります。それについては、回収できませんというシールを貼るという対応をさせていただきます。あまりにも酷く集積所が大変ということであれば、ケースバイケースになりますが、環境管理課に相談ください。必要な対策をさせていただくなど、一緒に考えていきたいと思います。また、指定袋以外では捨てにくくなる効果のほうが大きいと思います。現在は何の袋でも良いので色んな捨て方をされると紛れてしまいます。町会で綺麗に指定袋で捨てているのに、わざわざどこか違う所から来て目立つ白い袋や、別の袋で出す人は少なくなると思います。他の自治体でも、すぐに定着し、逆に排除されやすくなるそうです。
北辰学区高杉 ふれあい センター	集積所に誰もいないので、捨てる人は人がいないときを見計らって捨てる。	それも調べるのが大変だということであれば、状況を連絡いただければ対応します。
北辰学区高杉 ふれあい	指定袋以外を置いていかれても誰も対応する人がいないため町会が苦	指定袋は、色んな袋で捨てられるというのは防げると思います。

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
センター	労する。	
北辰学区高杉 ふれあい センター	捨てていく場所は決まっている。指定袋になれば、ルール違反は減ると思います。	無回答
北辰学区高杉 ふれあい センター	現在、町会連合会から袋を買っているが、スーパーで安く売っているのもそっちで買っている人が結構いると思う。指定しても薄いのが出回って同じようになるのではないかな。	指定袋を作るにあたっては、デザインと色と厚さは決めさせていただきます。その厚さを下回って作ると違反になります。抜き打ちで検査して、妙に安く売っていて質が悪くて薄いなどの場合には業者に指導を行います。指定袋にしたのにすぐ破けるとなると問題なので、袋の厚さについては、きちんとした物にしたいと考えています。厚さについては全国でも一般的な厚さで業者でも作りやすく価格も安定した価格になるのではないかなということで0.03ミリという厚さを決めさせていただきました。ただ、0.03ミリ以上というのは人それぞれで、高くてもより丈夫な袋を買いたい人もいだろうということで、0.03ミリ以上としております。
北辰学区高杉 ふれあい センター	町会で注文することになったときに、安いから違うところで買う人が結構いる。	安い方を買いたいという人もいれば、買いに行く手間賃かけても町会で斡旋する厚い袋が良いなど、人それぞれです。現在、町会連合会で販売するかどうか分かりませんが、市としては取り扱っていただいても結構です。スーパーで特売などあるかもしれませんが、それについては市としては妨げることはできません。
北辰学区高杉 ふれあい センター	同じものを安く売ったりするのは構わないということで、大体一枚どれくらいを想定していますか。	値段も始まってみないとわかりませんが、先進地の青森市は45リットル袋が一般的です。現在、推奨袋が40リットルでちょっと小さめです。青森市では1枚約15円で売られていると聞いています。町会連合会で売られているのが1枚約8円で、45リットル換算すると

会場	市民からの質問・意見等	市の回答
		9円か10円程度になると思いますので、5円程度は高くなると考えています。ただし、販売場所によっては特売で安く売るような場合があるかもしれません。
北辰学区高杉 ふれあい センター	買う人の自由を尊重していることはわかる。幅広くということで良く言っているが、ルールやシステムからすると弱い。町会連でなければダメですよとした方が良い感じがする。そうはいかないのか。	町会連も一つの事業者でコンビニやスーパーの中の一つとして、町会連だけ優遇することは出来ません。
北辰学区高杉 ふれあい センター	ごみの処理、対応など労力を減らしているのは町会なので、町会連を主体にしていかなければならないと思う。	町会連で袋を買いたいとは市でアナウンス出来ませんので、町会連で対応することになると思います。
北辰学区高杉 ふれあい センター	市内で毎戸収集しているところが沢山あると思うが、ステーションで協力して苦勞するのであれば毎戸でやれば問題は解決する。ステーションでやるから後始末とか問題が起きる。対応している町会に見返りがくるような制度にしないと、正直者が損をすることがないようにしてもらいたい。法律とか色々あると思うが、そういうことに市が協力していかないと一生懸命やっている人、市の事業に協力している人が少なくなる。毎戸収集については、場所がない人を説得させられない、どうにもならないのでという説明をする。そういった事を改良しないといけない。	何とかステーション化したいということで、別な取組をしていますので、貴重な意見として承ります。
北辰学区高杉 ふれあい センター	10リットルとは、どれくらいの袋か。	コンビニで売られているペットボトル1本買って受け取るのが7リットルくらいなので、それより少し大きいくらいです。見本も環境管理課にありますのでお越しいただければ確認できます。

以上